



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 東京汽船株式会社
 コード番号 9193 URL <http://www.tokyokisen.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 宏之
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 伊藤 英津生
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 045-671-7713

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,590	2.4	564	30.4	793	17.3	620	53.4
24年3月期第3四半期	9,368	△4.5	433	△45.1	676	△37.0	404	△52.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 642百万円 (65.0%) 24年3月期第3四半期 389百万円 (△49.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	62.34	—
24年3月期第3四半期	40.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	22,359	17,008	72.7
24年3月期	21,779	16,442	72.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 16,251百万円 24年3月期 15,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	15.00	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,581	1.9	541	2.8	791	△8.2	540	12.5	54.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	10,010,000 株	24年3月期	10,010,000 株
② 期末自己株式数	55,033 株	24年3月期	53,527 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	9,955,720 株	24年3月期3Q	9,957,230 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年12月31日)の日本経済は、東日本大震災の復興需要等に牽引される形で回復傾向が見られた一方、欧州債務問題など海外景気の停滞に円高の長期化が加わり厳しい状況が続きました。

こうした環境下、当社グループの業況は、主力の曳船事業は、海難救助関係の特殊作業が重なったこと等により増収となりました。旅客船事業、売店・食堂事業の売上高は、対前年同期比では増収でしたが大震災以前の水準には回復しませんでした。この結果、グループ全体の売上高は9,590百万円(前年同期比2.4%増)となりました。利益面では営業利益が564百万円(前年同期比30.4%増)、経常利益が793百万円(前年同期比17.3%増)、四半期純利益は福島第一原子力発電所の事故に伴う東京電力(株)からの補償金等を特別利益に計上したことで620百万円(前年同期比53.4%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりです。

曳船事業

曳船事業セグメントは、曳船作業対象船舶の東京湾への入出港数がコンテナ船を中心に減ったものの、LNG船は高水準を維持、プロダクトタンカーへの作業数は増加し、上述の特殊作業の売上が寄与して売上高は7,003百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

利益面は売上高の増加を反映し、営業利益が562百万円(前年同期比12.6%増)となりました。

旅客船事業

旅客船事業セグメントは、カーフェリー部門においては、放射能漏れによる風評被害の影響は徐々に緩和されつつありますが、下半期に入り強風等の悪天候が影響し、運賃収入は伸び悩む結果となりました。

横浜港の観光船部門は、各種イベント営業、特にインターネットを駆使した集客が好調に推移しましたが、団体客の伸び悩みが続き、交通船部門は、湾内高速艇運航受託船が1隻増加したことにより売上高が増加しました。

この結果、旅客船事業セグメントの売上高は1,971百万円(前年同期比8.4%増)となり13百万円の営業利益(前年同期は43百万円の営業損失)となりました。

売店・食堂事業

売店・食堂事業セグメントは、季節毎の新メニューの開発・セールスの強化などを行いましたが、放射能漏れの風評被害があり団体客を中心に南房総地区が敬遠される状況が続きました。その他の地区は回復傾向が見られ、売上高は615百万円(前年同期比5.6%増)となり、利益面では営業損失は11百万円(前年同期は22百万円の営業損失)に縮小しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、580百万円増加し22,359百万円となりました。これは主に減価償却が進んだことで船舶が303百万円減少しましたが、曳船の設備更新を中心とした設備投資が684百万円発生し、長期預金が300百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ、14百万円増加し5,351百万円となりました。これは主に賞与引当金が162百万円減少し、賞与支給に伴い社会保険料の預り金等が増加したことを主因としてその他流動負債が153百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、565百万円増加し17,008百万円となりました。これは主に第1四半期連結会計期間に持分法適用会社を1社新規に取込んだことで73百万円増加したことに加え、四半期純利益が620百万円計上されましたが、剰余金の配当を149百万円実施したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.6%増加し72.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

日本経済の行方、燃料油価格の動向など不確定要素が多い状況が継続するものと思われま

す。業績予想につきましては、平成24年5月15日に公表いたしました連結業績予想から修正を行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,530,092	7,630,857
受取手形及び売掛金	2,391,791	2,404,017
商品	23,039	30,607
貯蔵品	124,153	109,694
繰延税金資産	104,017	30,993
その他	305,574	372,045
貸倒引当金	△4,782	△4,179
流動資産合計	10,473,886	10,574,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	314,777	411,124
船舶(純額)	4,629,761	4,326,386
土地	1,292,730	1,435,628
その他(純額)	44,030	94,807
有形固定資産合計	6,281,299	6,267,946
無形固定資産		
	48,137	51,441
投資その他の資産		
投資有価証券	1,447,586	1,444,268
関係会社株式	1,771,613	1,883,219
繰延税金資産	226,085	236,420
その他	1,577,904	1,945,441
貸倒引当金	△47,006	△43,100
投資その他の資産合計	4,976,184	5,466,249
固定資産合計	11,305,621	11,785,637
資産合計	21,779,507	22,359,673

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,001,585	960,152
短期借入金	1,653,670	1,667,836
未払法人税等	32,990	107,451
役員賞与引当金	35,000	26,250
賞与引当金	217,274	55,190
その他	232,530	386,464
流動負債合計	3,173,052	3,203,343
固定負債		
長期借入金	97,535	72,367
退職給付引当金	1,111,900	1,089,964
役員退職慰労引当金	364,911	383,236
特別修繕引当金	338,751	370,331
繰延税金負債	148,044	144,235
資産除去債務	2,855	2,885
負ののれん	81,086	70,769
その他	18,435	14,318
固定負債合計	2,163,518	2,148,108
負債合計	5,336,570	5,351,451
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,500	500,500
資本剰余金	75,357	75,357
利益剰余金	15,379,260	15,924,512
自己株式	△39,400	△40,070
株主資本合計	15,915,716	16,460,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,562	7,055
為替換算調整勘定	△218,246	△216,234
その他の包括利益累計額合計	△213,683	△209,179
少数株主持分	740,903	757,101
純資産合計	16,442,936	17,008,221
負債純資産合計	21,779,507	22,359,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	9,368,737	9,590,729
売上原価	7,371,952	7,417,033
売上総利益	1,996,784	2,173,696
販売費及び一般管理費		
販売費	213,464	225,142
一般管理費	1,350,184	1,383,910
販売費及び一般管理費合計	1,563,649	1,609,052
営業利益	433,134	564,643
営業外収益		
受取利息	7,506	6,721
受取配当金	46,722	29,562
負ののれん償却額	10,316	10,316
持分法による投資利益	161,882	159,397
その他	41,278	46,277
営業外収益合計	267,707	252,276
営業外費用		
支払利息	21,325	20,736
その他	2,980	2,649
営業外費用合計	24,306	23,386
経常利益	676,535	793,533
特別利益		
固定資産売却益	37,563	77,468
受取保険金	11,289	—
受取補償金	—	89,807
特別利益合計	48,852	167,275
特別損失		
固定資産売却損	17,479	—
特別損失合計	17,479	—
税金等調整前四半期純利益	707,909	960,808
法人税、住民税及び事業税	172,319	256,311
法人税等調整額	87,835	65,748
法人税等合計	260,154	322,059
少数株主損益調整前四半期純利益	447,755	638,749
少数株主利益	43,239	18,139
四半期純利益	404,515	620,609

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	447,755	638,749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,149	1,893
持分法適用会社に対する持分相当額	△27,136	2,012
その他の包括利益合計	△58,285	3,906
四半期包括利益	389,469	642,655
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	345,751	625,114
少数株主に係る四半期包括利益	43,717	17,541

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,967,733	1,818,344	582,659	9,368,737	—	9,368,737
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,905	42,529	3,372	51,807	△51,807	—
計	6,973,639	1,860,874	586,031	9,420,544	△51,807	9,368,737
セグメント利益又は損失(△)	499,459	△43,361	△22,962	433,134	—	433,134

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,003,918	1,971,450	615,360	9,590,729	—	9,590,729
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,565	47,398	3,318	57,281	△57,281	—
計	7,010,483	2,018,849	618,678	9,648,011	△57,281	9,590,729
セグメント利益又は損失(△)	562,624	13,966	△11,947	564,643	—	564,643

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。